

## 引用文献

- Atkinson, R. C., & Shiffrin, R. M. 1968 Human memory: A proposed system and its control process. In K. W. Spence & J. T. Spence (Eds.) *The psychology of learning and motivation: Advances in research and theory*, Vol.2. New York, Academic Press. pp.89-195.
- Bartlett, F. C. 1932 Remembering: A study in experimental and social psychology. Cambridge University Press. [宇津木保・辻三三(訳) 一九八三 想起の心理学——実験的社会的心理学における一研究——誠信書房]
- Beck, A. T. 1976 Cognitive therapy and the emotional disorders. New York, International University Press. [大野裕(訳) 一九九〇 認知療法——精神療法の新しい発展——岩崎学術出版社]
- Bergson, H. 1896 *Matiere et memoire, essai sur la relation du corps a l'esprit*. [高橋里美(訳) 一九四六 物質と記憶 岩波書店]
- Bergson, H. 1907 *L'evolution creatrice*. [真方敏道(訳) 一九四八 創造的進化 上・下 岩波書店]
- Bem, D. J. 1972 Self-perception theory. In L. Berkowitz (Ed.) *Advances in experimental social psychology*. Vol.6. New York, Academic Press. pp.1-62.
- Bernstein, N. 1967 *The coordination and regulation of movement*. Pergamon Press.
- Broadbent, D. E. 1958 *Perception and communication*. Pergamon Press.
- Broudy, H. S. 1977 Types of knowledge and purposes of education. In R. C. Anderson, R. J. Spiro & W. E. Montague (Eds.) *Schooling and acquisition of knowledge*. Hillsdale, N. J., Lawrence Erlbaum Associates. pp.1-17.
- Brown, J. S., Collins, A., & Duguid, P. 1989 Situated cognition and the culture of learning. *Educational Researcher*,

- 18(1), 32-42. [杉本 卓(訳)一九九二 状況に埋め込まれた認知と、学習の文化 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀 夫・波多野諠余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 三六一―五二頁。]
- Condon, W. S. 1976 An analysis of behavioral organization. *Sign Language Studies*, 13, 285-318.
- Dewey, J. 1896 The reflex arc concept in psychology. *Psychological Review*, 3, 357-370.
- Ebbinghaus, H. 1885 Über das Gedächtnis: Untersuchungen zur Experimentellen Psychologie. Leipzig, Duncker & Humboldt.
- H. A. Ruger & C. E. Bussenius (trans.) 1913 Memory: A contribution to experimental psychology by Hermann Ebbinghaus. Dover Public. [宇津木保(訳)・望月衛(訳)一九七八 記憶について 誠信書房。]
- Edelman, G. M. 1992 Bright air, brilliant fire: On the matter of mind. New York, Basic Books. [金子隆芳(訳)一九九五 心から脳へ——心の進化の生物学——新曜社。]
- 遠藤由美 一九九三 セルフに対する認知的アプローチの意義と課題 心理学評論、三六、五四五―五六四頁。
- 藤永 保 一九七九 知的行動・能力と文化条件 星野命(編) 人間と文化 朝倉書店 九―二八頁。
- 藤原勝紀 一九九二 臨床心理学の方法論 氏原寛・小川捷之・東山紘久・村瀬孝雄・山中康裕(共編) 心理臨床大事典 培風館 一三一―一七頁。
- 福永光司 一九六六 莊子 内編・外編 朝日新聞社。
- 福島真人 一九九四 人類学的身体の構成 早稲田大学人間総合研究センター(編) 精神としての身体 東洋医学の人間 科学的研究プロジェクト研究報告書 5 一―一三頁。
- 福島真人 一九九五 序文——身体を社会的に構築する——福島真人(編) 身体の構築学 ひつじ書房 一―一六六頁。
- Garfinkel, H. 1967 *Studies in ethnomethodology*. Oxford, Polity Press.
- Gibson, J. J. 1979 *The ecological approach to visual perception*. Boston, Houghton Mifflin Company. [古崎敬・古崎愛子・辻敬一郎・村瀬曼(訳)一九八五 生態学的視覚論 サイエンス社。]

- Giorgi, A. 1970 *Duquesne studies in phenomenological psychology*: Vol.1. Duquesne University Press, Giorgi, A. 1976 *Phenomenology and the foundations of psychology*. University of Nebraska Press. [早坂泰次郎(監訳)一九八五 心理学の転換 勁草書房]
- Goodwin, C. 1984 Notes on story structure and the organization of participation. In M. Atkinson & J. Heritage (Eds.) *Structures of social action*. Cambridge University Press. pp.225-246.
- Halbwachs, M. 1950 *La memoire collective*. Paris, PUF. [小関藤二郎(訳)一九八九 集合的記憶 行路社。]
- 橋田邦彦 一九三八 自然の観方 教学局編纂 教学叢書 第一輯 内閣印刷局 三六一—八一頁。
- Hakano, G. 1982 Cognitive consequences of practice in culture specific procedural skills. *The Quarterly Newsletter of the Laboratory of Comparative Human Cognition*, 4, 15-18.
- 波多野諠余夫・三宅なほみ 一九九六 社会的認知——社会についての思考と社会における思考——市川伸一(編) 認知心理学 4 思考 東京大学出版会 二〇五—二三五頁。
- 波多野諠余夫・三宅芳雄 一九九二 認知科学の動向 人工知能学会誌 七 七四六—七五四頁。
- Held, R. 1965 Plasticity in sensory-motor systems. *Scientific American*, 213, 84-94.
- Held, R., & Hein, A. 1963 Movement-produced stimulation in the development of visually guided behavior. *Journal of Comparative and Physiological Psychology*, 56, 872-876.
- Herigel, E. 1948 *Zen in der Kunst des Bogenschessens*. Berne & München, Otto Wilhelm Bantth-Verlag. [稻富栄次郎・上田武(訳)一九八一 弓と禅 福村出版。]
- 東山魁夷・今西錦司・江上波夫・日野啓三 一九八三 創造する心 読売新聞社。
- Hutchins, E. 1990 *The technology of team navigation*. In J. Galegher, R. Kraut & C. Egidio (Eds.) *Intellectual teamwork: Social and technical bases of cooperative work*. Hillsdale, N. J., Lawrence Erlbaum Associates. [河田義郎

- (訳) 一九九二 チーム航行のテクノロジー 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野諠余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 二二―三五頁。]
- Hutchins, E. 1992 Where is the intelligence in a system of socially distributed cognition? [高橋和弘(訳) 一九九四 社会的分散認知システムにおいて知はどこに存在しているか? 日本認知科学会(編) 認知科学の発展、七、六七―八〇頁。]
- 市川 浩 一九七五 精神としての身体 勁草書房。
- 市川 浩 一九八三 ベルクソン 人類の知的遺産59 講談社。
- 市川 浩 一九八四 「身」の構造―身体論を超えて― 青土社。
- 市川伸一 一九八九 認知カウンセリングの構想と展開 心理学評論、三三二、四二二―四三七頁。
- 市川伸一 一九九一 実践的認知研究としての「認知カウンセリング」 箱田裕司(編) 認知科学のフロンティアI サイエンス社 一三四―一六三頁。
- 飯田善國 一九九一 彫刻家―創造への出発― 岩波書店。
- 生田久美子 一九八七 「わざ」から知る 東京大学出版会。
- 稲富栄次郎 一九五六 ヘリゲル先生の想い出 稲富栄次郎・上田武(訳) 一九八一 弓と禪 福村出版 一四八―一六五頁。
- 石原岩太郎 一九九三 人生を観る―今一つの心理学― 信山社出版。
- 板倉昭二 一九九〇 霊長類における自己鏡映像認知の比較発達 浜田寿美男・無藤隆・岩田純一・松沢哲郎(編) 発達20 ミネルヴァ書房 二九五―三〇一頁。
- 岩垂 弘 一九八九 日本と対極の世界・チベット 色川大吉(編) チベット・曼陀羅の世界―その芸術・宗教・生活― 小学館 二二九―二五二頁。

引用文献

- Kaheman, D. 1973 *Attention and efforts*. Englewood Cliffs N. J., Prentice-Hall.
- 梶山雄一 一九八三 空の思想——仏教における言葉と沈黙—— 人文書院。
- 加藤唐九郎 一九八二 自伝 土と炎の迷路 日本経済新聞社。
- 河合隼雄 一九八六 心理療法論考 新曜社。
- 河合隼雄 一九八九 いま「心」とは 宇沢弘文・河合隼雄・藤沢令夫・渡辺慧(編) 転換期における人間3 心とは 岩波書店 一―二六頁。
- 河合隼雄 一九九五 ユング心理学と仏教 岩波書店。
- 川口 潤 一九九四 意識と無意識のはざま——適応システムとしての無意識的過程と意識の機能—— 科学、六四、二三―七―二四五頁。
- 菊池尊治 一九八五 「個人科学」のすすめ——現代の科学技術に問われているもの——エコノミスト、二月四日、一一四―一二三頁。
- 木村 敏 一九七二 人と人との間 弘文堂。
- 木村 敏 一九八一 自己・あいだ・時間 弘文堂。
- 木村 敏 一九八二 時間と自己 中央公論社。
- 木村 敏 一九八八 あいだ 弘文堂。
- 小谷津孝明・鈴木栄幸・大村賢悟 一九九二 無意図的想起と行為のしわすれ現象 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野諄余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 一二五―一三七頁。
- 鯨岡 峻 一九八六 母子関係と間主観性の問題 心理学評論、二九、五〇六―五二九頁。
- 黒田 亮 一九三三 勸の研究 岩波書店(一九七七 講談社)。
- Lave, J. 1991 *Situated learning in communities of practice*. In L. B. Resnick, J. M. Levine & S. D. Teasley (Eds.)

Perspectives on socially shared cognition. APA, pp.63-82.

Lave, J., & Wenger, E. 1991 Situated learning: Legitimate peripheral participation. Cambridge University Press. [佐伯 胖(訳)一九九三 状況に埋め込まれた学習——正統的周辺参加——産業図書。]

Lee, D. N., & Aronson, E. 1974 Visual proprioceptive control of standing in human infants. Perception and Psychophysics, 15, 529-532.

Leiter, K. 1980 A primer on ethnomethodology. Oxford University Press. [高山真知子(訳)一九八七 エスノメソッド ロビーとは何か 新曜社。]

Lorenz, K. 1973 Die Rückseite des Spiegels: Versuch einer Naturgeschichte Menschlichen Erkennens. München, R. Piper & Co. Verlag. [谷口茂(訳)一九七四 鏡の背面——人間の認識の自然誌的考察——(上・下) 思索社。]

マクスウェル, D. 一九九五 ヘルナール・ビュッフェに何があったか? 柴 勤・谷口雄一(編) Bernard Buffet 谷口事務所インタヴュー 一二八—一三三頁。

Markus, H. R. 1977 Self-schemata and processing information about the self. Journal of Personality and Social Psychology, 35, 63-78.

丸野俊一 一九九三 他者とのやり取りの中で展開する知識 無藤隆(編) 別冊発達15 現代発達心理学入門 ミネルヴ  
ア書房 二〇五—二二〇頁。

丸野俊一 一九九四 素朴理論 日本児童研究所(編) 児童心理学の進歩33 金子書房 九一—一二六頁。  
松久朋琳 一九七三 仏像彫刻のすすめ 日貿出版社。

Mauss, M. 1968 Sociologie et anthropologie. Paris, Presse universitaires de France. [有地 亨・山口俊夫(訳) 一九  
七六 社会学と人類学Ⅰ・Ⅱ 弘文堂。]

Mayer, R. E. 1981 The promise of cognitive psychology. W. H. Freeman & Co. [多鹿秀継(訳) 一九八三 認知心理

学のすすめ サイエンス社。]

McDermott, R. P. 1993 The acquisition of a child by a learning disability. In S. Chaikin & J. Lave (Eds.) Understanding practice: Perspectives on activity and context. Cambridge University Press. pp.269-305.

Mead, G. H. 1934 Mind, self and society. Chicago, University of Chicago Press.

道又 爾 一九九二 認知心理学の二つの顔——機械論/生氣論を超えて——イマージュ(三)(六) 三〇—四一頁。

Miller, G. A., Galanter, E., & Pribram, K. H. 1960 Plans and the structure of behavior. Holt, Rinehart & Winston.

[十島雅蔵・佐久間章・黒田輝彦・江藤幸晴(訳) 一九八〇 プランと行動の構造 誠信書房。]

皆川満寿美・上野直樹 一九九五 エスノメソドロジーと状況論——デモンストレーションのための序——日本認知科学

会「教育環境のデザイン」研究分科会研究報告(二)(二)、一—一〇頁。

三嶋博之 一九九四 「またぎ」と「くぐり」のアフォーダンス知覚 心理学研究、六四、四六九—四七五頁。

三浦賢一 一九八五 ノーベル賞の発想 朝日新聞社。

三宅なほみ・波多野誼余夫 一九九一 日常的認知活動の社会文化的制約 日本認知科学会(編) 認知科学の発展4 特

集学習 一〇五—一二二頁。

三宅芳雄 一九九二 概観——心的基本的特徴の解明——安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野誼余夫・溝口文雄

(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 一三五—一四三頁。

森三樹三郎 一九七九 老子・莊子 講談社。

森岡正芳 一九九五 こころの生態学——臨床人間科学のすすめ——朱鷺書房。

森岡正芳 一九九七 ミメシス変換——対人援助場面において——第16回科学技術フォーラム(編) 科学技術と人間

生活との新しい関係に関する調査 日本科学技術振興財団 七〇—七三頁。

茂呂雄二 一九九一 認識の社会的構成 日本児童研究所(編) 児童心理学の進歩30 金子書房 一〇—一二二頁。

- 村上陽一郎 一九八六 時間の科学 岩波書店。
- 中村雄二郎 一九七九 共通感覚論 岩波書店。
- 中村雄二郎 一九八三a 魔女ランダ考——演劇的知とはなにか—— 岩波書店。
- 中村雄二郎 一九八三b 西田幾多郎 岩波書店。
- 中村雄二郎 一九九二 臨床の知とは何か 岩波書店。
- 夏目漱石 一九六二 夏目漱石作品集第10巻 夢十夜 昭和出版。
- Neisser, U. 1976 Cognition and reality: Principles and implications of cognitive psychology. San Francisco, W. H. Freeman & Co. [古崎敬・村瀬旻(訳) 一九七八 認知の構図 サイエンス社。]
- Neisser, U. 1986 Nested structure in autobiographical memory. In D. C. Rubin(Ed.) *Autobiographical memory*. Cambridge University Press. pp.71-81.
- Neisser, U. 1988 Five kinds of self-knowledge. *Philosophical Psychology*, 1, 35-59.
- Neisser, U. 1990 Modes of perception and forms of knowledge. Invited Lecture at the Annual Meeting of Japanese Psychological Association, Tokyo.
- 西田幾多郎 一九一一 善の研究(一九五〇 岩波書店)。
- 西岡常一・小原二郎 一九七八 法隆寺を支えた木 日本放送出版会。
- 野家啓一 一九九六 行為としての知——西田哲学の現代的意義—— 現代のエスプリ352 至文堂 四八—六〇頁。
- 野村幸正 一九八六 インドへの道(1)——その認知心理学的意義—— 関西大学『文学論集』、創立百周年記念号、八二三—八四二頁。
- 野村幸正 一九八九 知の体得——認知科学への提言—— 福村出版。
- 野村幸正 一九九一 関係の認識——インドに心理学を求めて—— ナカニシヤ出版。



- 野村幸正 一九九二 「わざ」の形成 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野諠余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 六一七―六二八頁。
- 野村幸正・西田晃一 一九九二 『いま』の拡がりの範囲、方向の評価——双対尺度法および因子分析から—— 心理学研究、六一、二四七―二五四頁。
- 野村幸正 一九九四 a かかわりのコスモロジー——認知と臨床のあいだ—— 関西大学出版部。
- 野村幸正 一九九四 b 意識に埋め込まれた身体 心理学評論、三七、四七三―四九三頁。
- 野村幸正 一九九五 非言語コミュニケーション——「技」の伝授—— 計測自動制御学会ヒューマン・インタフェース部会 ヒューマン・インタフェース講習会資料、一一―一頁。
- 野村幸正 一九九六 自己について素朴理論 関西大学『文学論集』、四五(四)、三二―四五頁。
- 野村幸正 一九九八 a 「わかる」と「できる」のからみ 丸野俊一(編) 心理学のなかの論争 ナカニシヤ書店 二二九―二四九頁。
- 野村幸正 一九九八 b 心身の統合の達成——自己再組織化と新しいコスモロジー—— 関西大学『文学論集』、四七(四)、一一―二二頁。
- Norman, D. A. 1989 Cognitive artifacts. Paper presented for the Workshop on Cognitive Theory and Design in Human-Computer Interaction at Kettle House Inn, Chappaqua, New York. [野島久雄(訳) 一九九二 認知的な人工物 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野諠余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 五二―六四頁。]
- 岡野守也 一九九〇 唯識の心理学 青土社。
- 小野田俊蔵 一九九三 チベットの生死観 立川武蔵(編) 曼陀羅と輪廻——その思想と美術—— 佼成出版社 六〇―七四頁。

- 太田信夫 一九八八 長期記憶におけるプライミング 心理学評論、三二、三〇五—三二二頁。
- 太田信夫 一九九二 手続記憶 箱田裕司(編) 認知科学のフロンティアⅡ サイエンス社 九二—一九頁。
- 大谷泰照 一九八三 「数学世界」と日本語 朝日新聞一〇月一五日(夕刊)。
- Polanyi, M. 1958 Personal knowledge. The University of Chicago. London, Routledge and Kegan Paul Ltd. [長尾史郎(訳) 一九八五 個人的知識——脱批判哲学をめぐる——ハーベスト社。]
- Polanyi, M. 1966 The tacit dimension. London, Routledge and Kegan Paul Ltd. [佐藤 敬三(訳)・伊藤俊太郎(序) 一九八〇 暗黙知の次元——言語から非言語へ——紀伊國屋書店。]
- Prigogine, I. & Stengers, E. I. 1984 La nouvelle alliance: Metamorphose de la science. New York, Bantam Books. [伏見康治・伏見讓・松枝秀明(訳) 一九八七 混沌から秩序 みすず書房。]
- Ryle, G. 1949 The concept of mind. London, Hutchinson. [坂本百大・宮下治子・服部裕幸(訳) 一九八七 心の概念 みすず書房。]
- Sataya, R. 1976 Indian psychology: A critical and historical analysis of the psychological speculations in indian philosophical literature. Munshiram Manoharlal Publishers Pvt. Ltd.
- 佐々木正人 一九九一 「現在」という記憶の時間 無藤隆(編) ことばが誕生するとき——言語・情動・関係——新曜社 九三—一二八頁。
- 佐々木正人 一九九二 表象とパフォーマンス 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野誼余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 六〇三—六二六頁。
- 佐々木正人 一九九三 a 認知科学の新しい動向5 アフォーダンス 言語、二二(五)、九六一—〇二頁。
- 佐々木正人 一九九三 b 認知科学の新しい動向6 エコロジカル・セルフ 言語、二二(六)、九四—九九頁。
- 佐々木正人 一九九三 c 「学習」の分析単位——エコロジカル・アプローチ——教育学研究、六〇、二二八—三三六頁。

引用文献

- 佐々木正人 一九九四 アフォーダダンス——新しい認知の理論—— 岩波書店。
- 清水 博 一九九六 生命知としての場の理論——柳生新陰流に見る共創の理—— 中央公論社。
- 下中邦彦(編) 一九七一 哲学事典 平凡社。
- Stewart, A. 1992 Life=Cognition: The Epistemological and ohological signification of artificial life. In (Ed.) Toward a practice of autonomous systems. MIT Press. pp.475-483. [長尾力(訳) 一九九六 生命=認識——人工生命の認識論および存在論的意義—— イマーゴ、七(一)、一五八—一六七頁。]
- Suchman, L. 1987 Plans and situated actions: The problem of human machine interaction. Cambridge University Press.
- 鈴木秀夫 一九七八 森林の思考・砂漠の思考 日本放送出版協会。
- 立川武蔵 一九八八 ヨーガの哲学 講談社。
- 立川武蔵 一九九二 はじめてのインド哲学 講談社。
- 立川武蔵 一九九三 浄土とマンガラ 立川武蔵(編) 曼陀羅と輪廻——その思想と美術—— 佼成出版社 九—三七頁。
- 高橋雅延 一九九七 偽りの性的虐待の記憶をめぐる 聖心女子大学論叢、八九、九一—一四頁。
- 高木光太郎 一九九二 「状況論的アプローチ」における学習概念の検討 東京大学教育学部紀要、三三、二六四—二七三頁。
- 高木光太郎 一九九六 実践の認知的所産 波多野諠余夫(編) 認知心理学5 学習と発達 東京大学出版会 三七—五八頁。
- 竹内敏晴 一九八二 からだが語ることは 評論社。
- 竹内良知 一九七〇 西田幾多郎 東京大学出版会。
- 竹内良知 一九七八 西田幾多郎と現代 第三文明社。
- 谷 泰 一九九三 現代文明と聖なるもの 河合隼雄・清水博・谷泰・中村雄二郎(編) 宗教と科学9 新しいコスモ

ロジール 岩波書店 三二二八頁。

田島信元 一九九三 心の社会的構成論——発達への社会・文化的アプローチ—— 無藤隆(編) 別冊発達15 現代発達

心理学入門 ミネルヴァ書房 二二二二二三九頁。

戸田正直 一九八〇 記憶とは何か 数理科学、二〇一、五一—三頁。

上野直樹 一九九〇 生態学的なニッチとしての状況 浜田寿美男・無藤隆・岩田純一・松沢哲郎(編) 別冊発達10 発

達の現在 ミネルヴァ書房 一一五一—一三五頁。

上野直樹 一九九一 状況的認知 日本児童研究所(編) 児童心理学の進歩30 金子書房 二八三—三二五頁。

上野直樹 一九九六a 状況的認知とギブソン1 アフォーダンスの意味 言語、二五(二)、一〇二—一〇七頁。

上野直樹 一九九六b 状況的認知とギブソン5 コンテキストのデザイン 言語、二五(五)、一〇八—一一三頁。

梅本堯夫 一九八五 邦楽の伝統的教育方法 梅本堯夫・中原昭哉・馬淵卯三郎(編) アブサラス——長廣敏雄先生喜寿

記念論文集——音楽之友社 一七七一—一九〇頁。

Vygotsky, L. S. 1930 柴田義松(訳) 一九七〇 精神発達の理論 明治図書。

Vygotsky, L. S. 1934 柴田義松(訳) 一九六二 思考と言語 明治図書。

Warren, H. W. 1984 Perceiving affordances: Visual guidance of stair climbing. *Journal of Experimental Psychology: Human Perception and Performance*, 10, 683-703.

和辻哲郎 一九三五 風土——その人間学的考察—— 岩波書店。

Whitton, J. L., & Fisher, J. 1986 *Life between life*. Dell Publishing Group Inc. [片桐すみ子(訳) 一九八九 輪廻転

生 人文書院?]

Wilber, K. 1977 *The spectrum of consciousness*. Wheaton: The Theosophical Publishing House. [吉福伸逸・菅 靖彦

(訳) 一九八五 意識のスペクトル(Ⅰ・Ⅱ) 春秋社。]

- 山口瑞鳳 一九八七 チベット(上・下) 東京大学出版会。
- 山折哲雄 一九八九 二つの肉体——チベットにおける王位継承と転生思想—— 色川大吉(編) チベット・曼陀羅の世界——その芸術・宗教・生活—— 小学館 六七—九四頁。
- 柳田邦男 一九九五 犠牲 文芸春秋。
- 矢島羊吉 一九八三 空の哲学 日本放送出版協会。
- 安岡正篤 一九二二 王陽明研究(一九六〇 明德出版)。
- 養老孟司 一九九六 脳から見た現代社会 大学時報、四五(二四七)、五八一—七一頁。
- 湯浅泰雄 一九九〇 身体論——東洋的心身論と現代—— 講談社。

## 参考文献

- Bateson, G. 1979 *Mind and nature: A necessary unity*. New York, John Brockman Associates. [佐藤良明(訳) 一九八二 精神と自然——生きた世界の認識論—— 思索社。]
- 遠藤由美 一九九五 精神的健康の指標としての自己をめぐる議論 社会心理学研究、一一、一三四—一四四頁。
- 福島真人 一九九三 解説 認知という実践——「状況的学習」への正統的で周辺のなコメントール—— [佐伯 胖(訳) 一九九三 状況に埋め込まれた学習——正統的周辺参加—— 産業図書 一二三—一七五頁。]
- Furham, A. D. 1988 *Lay theories: Everyday understanding of problems in the social science*. Pregron Press. [細江 達郎(監訳) 一九九二 しろりと理論——日常性の社会心理学—— 北大路書房。]
- Gibson, J. J. 1982 *Notes on affordances*. In E. Reed & R. Jones (Eds.) *Reasons for realism*. Hillsdale, N. J., Lawrence

- Erlbaum Associates. (山上 暁 (訳) 一九九二 アフォーダンスについての覚書 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫  
・波多野誼余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 六二九―六三九頁。]
- 浜田寿美男 一九九二 自我が形成されるとはどういうことなのか——一つの理論立ての試み—— 浜田寿美男(編著)  
「私」というものなりたち ミネルヴァ書房 六七―九九頁。
- 波多野誼余夫・高橋恵子 一九九七 文化心理学入門 岩波書店。
- 生田久美子 一九八四 「わざ」を知る」とは何か 慶応義塾大学『哲学』第79集、一四七―一六五頁。
- 生田久美子 一九九五 「わざから知る」その後 福島真人(編) 身体の構築学 ひつじ書房 四一五―四五六頁。
- 石原岩太郎 一九八二 意味と記号の世界 誠信書房。
- 海保博之・野村幸正 一九八三 漢字情報処理の心理学 教育出版。
- 河合雅雄 一九七九 森林がサルを生んだ——原罪の自然誌—— 平凡社。
- 小林道夫 一九九四 心身問題——その所在と展開—— 心理学評論、三七、四一九―四三六頁。
- 黒崎 宏 一九九一 「語り得ぬもの」に向かつて——ヴァイトゲンシュタイン的アプローチ—— 勁草書房。
- Lorenz, K. & Kreuzer, F. 1981 *Leben ist Lernen*. München, R Piper & Co. Verlag. (三島憲一(訳) 一九八二 生命は学習なり 思索社。)
- Manderick, B. 1992 *Selectionist systems as cognitive systems*. In (Ed.) *toward a practice of autonomous systems*. MIT Press. pp.441-447. [長尾力(訳) 一九九六 認知システムとしての選択主義システム イマージュ、七(一)、一六八―一八二頁。]
- 丸野俊一 一九九二 動作の模倣と学習 成瀬悟策(編) 現代のエスプリ別冊 教育臨床動作法 至文堂 一〇三―一一二頁。
- 南 博文 一九九二 素朴心理学再考——ハイダーの着想からエスノメソドロジーの展開へ—— 対人行動学研究、一一、

一―二頁。

南博文 一九九四 発達における文化的文脈 日本児童研究所(編) 児童心理学の進歩33 金子書房 三〇―三二四頁。

三宅なほみ 一九九二 概観——かわり合いの統一理論を目指して——安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野誼余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 一一―二〇頁。

守 一雄 一九九六 やさしいPDPモデルの話 新曜社。

森 敏昭 一九九二 概観——記憶研究のニュー・フロンティア——安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野誼余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 一九五―二〇二頁。

森岡正芳 一九九四 緊張と物語——聴覚的統合による出来事の変形——心理学評論、三七、四九四―五二二頁。

中村陽吉 一九九〇 「自「過程」の4段階 中村陽吉(編) 「自「過程」の社会心理学 東京大学出版会 三―二〇頁。

Neisser, U. 1978 Memory: What are the important question? In M. M. Gruneberg, P. E. Morris & R. N. Sykes (Eds.) Practical aspects of memory. London, Academic Press. pp.3-24.

Neisser, U. 1980 Toward a realistic cognitive psychology. APA Master lecture series on cognitive psychology. [岩本隆茂(訳)一九九〇 現実的な認知心理学に向けて 北海道大学文学部紀要、三八(二)、一二二―一七八頁。]

Neisser, U. 1982 Memory observed: Remembering in natural contexts. San Francisco, W. H. Freeman & Co. [富田達彦(訳)一九八八 観察された記憶 誠信書房。]

野村幸正 一九八三 心的活動と記憶 関西大学出版部。

野村幸正 一九八九 「かわり」としての認知、そして記憶(Ⅱ)——未来志向型記憶と構想の関係について—— 関西大学『文学論集』、三八(二)、二五―五〇頁。

野村幸正 一九九〇 「かわり」としての認知、そして記憶(Ⅲ)——熟達化における自己と未知の構想—— 関西大学

『文学論集』、三九(二)、七七一—一六頁。

野村幸正 一九九〇 「かわり」としての認知、そして記憶(Ⅳ)——知識の質と構想の過程—— 関西大学『文学論集』、三九(四)、一一三—二頁。

野村幸正 一九九一 「かわり」としての認知、そして記憶(Ⅴ)——構想における無意識の役割—— 関西大学『文学論集』、四〇(四)、六五—八六頁。

野村幸正 一九九二 生きるもの・生きること——新・心理学試論—— 福村出版。

野村幸正 一九九二 自己知——認知心理学「者」に課せられたもう一つの課題—— 関西大学『文学論集』、四二(二)、一〇七—一二八頁。

野村幸正 一九九四 臨床心理学と認知心理学——状況論的アプローチ—— 河合隼雄・山中康裕(編) こころの科学増刊 臨床心理学入門 一四五—一四九頁。

野村幸正 一九九五 社会行動についての素朴理論——自己についての素朴理論—— 日本心理学会第59回 総会論文集、S六〇頁。

Nomura, Y. 1995 Perception and retention: Some comparisons of Western psychology and Hindu psychology. Essays and Studies (Faculty of Letters, Kansai University), 44, 431-447.

野村幸正 一九九七 自己についての素朴理論——自己の自己理論と他者の自己理論の重なり—— 研究代表者 波多野誼 余夫 児童以降の心の理論(素朴理論)の発達に関する総合研究課題番号06301015 平成6~7年度科学研究費補助金[総合研究(A)]研究成果報告書 三一—六頁。

野村幸正 一九九七 客観主義を超えて——アジアからの発信—— 関西大学『文学論集』、四六(四)、一一三—〇頁。

Norman, D. A. 1981 Twelve issues for cognitive science. In D. A. Norman (Ed.) Perspectives on cognitive science. Hillsdale N. J., Lawrence Erlbaum Associates. pp.265-295. [佐伯 胖(監訳) 一九八四 認知科学の展望 産業図書



二九五―三四二頁。]

- 大浦容子 一九九六 熟達化 波多野誼余夫(編) 認知心理学5 学習と発達 東京大学出版会 一一―三六頁。
- 佐伯 胖 一九七八 心理と認識——因果性をめぐって—— 数理科学、一七九、五―一〇頁。
- 佐伯 胖 一九八三 認知科学の諸問題 科学哲学、一六、二一―三四頁。
- 佐伯 胖 一九九〇 序章 アクティブ・マインド——活動としての認知—— 佐伯胖・佐々木正人(編) アクティブ・マインド——人間は動きのなかで考える—— 東京大学出版会 一一―二四頁。
- 佐伯 胖 一九九二 道具使用の認知科学 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野誼余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 六五―七七頁。
- 佐伯 胖 一九九五 「学ぶ」ということの意味 岩波書店。
- 佐藤浩一 一九九八 「自伝的記憶」研究に求められる視点 群馬大学教育学部紀要(人文・社会科学編) 四七、五五九―六一八頁。
- 澤田瑞也 一九九二 共感の心理学——そのメカニズムと発達—— 世界思想社。
- 高橋恵子 一九九二 感情研究の現在と認知科学的発展への期待 安西裕一郎・石崎俊・大津由紀夫・波多野誼余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 一四四―一五五頁。
- 竹内芳郎 一九八一 文化の理論のために 岩波書店。
- 外山みどり 一九九〇 「自己の姿の把握」の段階 中村陽吉(編) 「自己過程」の社会心理学 東京大学出版会 六七―一一〇頁。
- 土屋孝文・三宅なほみ 一九九二 人間という有能な問題解決システム——その有能さはどこからくるのか—— 人工知能学会誌、七、七七二―七七八頁。
- Tulving, E. 1983 Elements of episodic memory. Oxford University Press. [太田信夫(訳) 一九八五 タルヴェイニング

の記憶理論 教育出版。]

- Tulving, E. 1991 [太田信夫(訳)一九九一 人間の複数記憶システム 科学、六一、二六三—二七〇頁。]
- 上野直樹 一九九六 状況的認知とギブソン<sup>2</sup> 相互行為としての知覚 言語、二五(二)、一〇四—一〇九頁。
- 上野直樹 一九九六 協同的な活動を組織化するリソース 認知科学、三、五一—二四頁。
- Uexkull, J. von & Kriszta, G. 1934 *Streifen durch die Umwelten von Tieren und Menschen*: 1940 *Bedeutungslehre*, Frankfurt, Fischer Verlag. [日高敏隆・野田保之(訳)一九七三 生物から見た世界 思索社。]
- 梅本堯夫 一九八七 認知とパフォーマンス 東京大学出版会。
- 梅本堯夫 一九九二 概観——認知と遂行のかかわりあい——安西裕一郎・石崎俊・大津田紀夫・波多野諠余夫・溝口文雄(編) 認知科学ハンドブック 共立出版 五九五—六〇二頁。
- Waugh, N. C., & Norman, D. A. 1965 Primary memory. *Psychological Review*, 72, 89-104.
- Weiner, B. 1985 An attributional theory of achievement motivation and emotion. *Psychological Review*, 92, 548-573.
- Wegner, D., & Vallacher, R. R. 1977 *Implicit psychology: An introduction to social cognition*. Oxford University Press. [倉智佐一(監訳)一九八八 暗黙の心理——何が人をそうさせるのか——創元社。]